

車両基地内において構内運転士が酒気を帯びた状態で車両を操縦した事象について

車両基地内において、構内運転士が酒気を帯びた状態で車両を操縦していたことが判明しました。深くお詫び申し上げます。

1. 発生日

2022年11月13日（日）

2. 関係箇所

株式会社JR西日本メンテック 向日町営業所

※発生箇所は、JR西日本近畿統括本部吹田総合車両所京都支所内です。

3. 関係者

株式会社JR西日本メンテック 構内運転業務担当者

4. 概況

2022年12月15日、社外から当社に対し、11月13日に上記箇所において、酒気を帯びた状態で勤務した事象の有無について照会がありました。上記箇所において、過去のアルコールチェック記録及び当該担当者への聞き取りにより確認したところ、11月13日を含めて過去1年間に計8回、酒気を帯びた状態で、上記車両基地内（お客様が乗車された列車は走行しない）の車両を移動させる業務を行っていたことが判明しました。

また、当該箇所のアルコールチェックの実態を調査したところ、本来、担当者と点呼執行者が対面で実施するアルコールチェックを、担当者が単独で行ったり、点呼執行者がアルコール検知器の数値確認を行わず記録簿に記載したり、担当者自らが記録簿に記載していたことがあることが分かりました。

本事象を受け、全社的にアルコールチェックの実施状況を確認した結果、当該箇所以外に株式会社JR西日本中国メンテック米子事業所において、アルコールチェックが対面で適切に実施できていないことが判明しました。

5. 付記

構内運転業務の一部を、JR西日本からJR西日本メンテック、JR西日本中国メンテックに委託しています。

6. 原因

- ・ 構内運転業務担当者及び点呼執行者が、アルコール検知器を用いたアルコールチェックを対面で適切に実施していなかったためです。
- ・ アルコールチェックを適切に実施できていない状態を、委託先会社及び当社の管理者が認識できていなかったためです。

7. 緊急対策

- ・ 管理者によるアルコールチェックの立会いを強化します。
- ・ アルコール検知器を用いたアルコールチェックの再教育を行います。

以上